

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

## 世界に希望を生み出そう

- 会長 中島 祐爾
- 幹事 緒方 公一

🌀 No.1861 令和 06 年 05 月 15 日 第 38 回例会



世界に希望を生み出そう

※例会日 毎週水曜日 12:30~  
 ※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内  
 ※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053  
 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)



### ■点鐘

### ■国歌斉唱「君が代」

### ■ロータリーソング「四つのテスト」 (ソングリーダー 古田哲朗)

### ■会長の時間 (会長 中島祐爾)

お酒と健康・飲酒のリスク 2

飲酒が原因となる病気

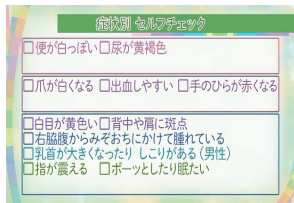


アルコール依存症の新しい治療法

「減酒」

日本でもおよそ100万人がアルコール依存症  
 ・アセトアルデヒドの分解が強いタイプは要注意

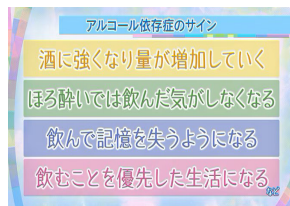
飲酒と肝臓の病気



がんと飲酒



アルコール依存症



急性すい炎・急性すい炎の症状



痛風



### ■幹事報告 (幹事 緒方公一)

#### ■来信案内

1)  
 三村彰吾 2024-2025 年度ガバナー、  
 林明 2024-2025 年度ロータリー財団部  
 門長、彌富照皇 2024-2025 年度ロータ  
 リー財団副部門長、伊牟田徹 2024-2025 年度ロータリー財団部  
 門 GG・PP 委員長より、2024-2025 年度グローバル補助金プロジェ  
 クトの募集。(2024 年 7 月 31 日まで)

#### 2)

地区ローターアクトより、第 36 回熊本グループ留学生交流会  
 (国際交流会) の案内。

開催日時 2024 年 5 月 26 日 (日) 12:30 ~ 17:00  
 開催場所 eee ルーム うきのば (熊本県宇城市小川町)  
 登録料 無料

#### ■クラブより

1)  
 第 11 回 定例理事会 報告

#### ■今後の地区行事

2024	5月17日(金) ~ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日 田温泉小京都の宿 みくまホテル
		福井学、古田哲朗、生駒ちあき、草村安宏、片岡貞志、松本繁、前田日出夫、村瀬直久、松岡泰光、松田和成、中島祐爾、小畑成司、緒方公一、杉本整哉、内田信行、山田公也、彌富照皇		
	6月8日(土)	会長ノミニ研修セミナー	熊本県熊本市	熊本城ホール、 ホテル日航熊本
		村瀬直久		

### ■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当 松本 繁)

今年度、私のロータリー情報では、私の 36 年間のロータリー歴において、私がロータリーで学んだこと (ロータリー活動で、ロータリーに関する書物で、先輩の教えで)、その学んだことを、自分の人生で、また経営で、いかに実践してきたかなどについてお話をしてきました。



私がロータリーで学んだ最も大切なことは、ロータリーで言うサービス Service 原語（邦訳一奉仕）の意味です。サービスは相手のことを思い、相手の立場に立って物事を考え、相手の役に立つ行為です。奉仕（仕え奉る）とは概念が同じではありません。サービスの心がけ（利他の精神）はどんな時でも大切で、例えば家庭でも大切です。相手のことを思う行為は、良い家庭、幸せな家庭につながります。ビジネスでもサービスの心がけは、シェルドンの言葉を借りれば、“永続的な顧客を得る道”です。ですから“最もよくサービスする者（すなわち、最も相手の役に立つ行為をする者）、最も多く報いられる”というモットーが生まれるのです。

私もロータリーに入会した最初のころは利己の精神そのものだったように記憶しています。しかし、ロータリー活動を続けて行くうちに、徐々にサービス（奉仕）の意味（利己よりも利他が優先する）が理解できるようになり私なりに、ロータリー活動やビジネス、家庭で実践できるようになってきたと思われまます。

前回、実践1. サービスの相手方が社員の場合についてお話ししましたので、今回は、実践2. 相手方が妻の場合についてお話ししたいと思います。皆様、今回も寛容の精神をもってお聞きいただければ幸いに存じます。

私の若い頃（高度経済成長期）、仕事上においては、男は家庭を顧みること、家庭を顧みようでは一人前の経営者にはなれない。女は家庭を守るものといった風潮があり、当時の私はそれに倣って、仕事を名目に家のことは家内に押し付け、麻雀、ゴルフ、飲み方に明け暮れる日々を送っていました。当然、夫婦のコミュニケーションも取れず、よく夫婦喧嘩もしました。

ところが、ロータリーに入会し、家族会に夫婦同伴で出席するようと言われた時は、困ってしまいました。当時、40歳そこそこで、仕事は大変だったし、子供は高校受験、大学受験の時期だったので全く余裕がありませんでした。しかし、熊本東南ロータリークラブに入会させていただいたということもあり、また当時は家族会はほとんどの会員が夫婦同伴だったので、私も、ここは思い切って、家内に頭を下げて同伴を頼みました。当然ながら家内の洋服代もかかりました。

それから、家族会や姉妹クラブ訪問などできる限り同伴することにし、先輩会員の奥様方からも可愛いがってもらいようになり、家内も徐々にロータリーに溶け込んで行き、ロータリーへの理解を深めていったように思います。

お陰様で、今では、ロータリーではもちろん、全てにおいて、妻が私の一番の理解者であり、相談相手です。今、思い返してみれば、ロータリーが私たち夫婦の仲を取り持ってくれたものと言えると思います。

ちなみに、常日頃、私たち夫婦間で心掛けてことがあります。それは、何かしてもらったら「ありがとう」と心から言うこと。それから、ちょっとしたことでも相手のいいところを言葉にして褒め合うことです。これは、結婚56年で悟った夫婦円満の秘訣と言えると思っています。私たち夫婦二人とも今年77歳になります。残りの人生をせいぜい仲良く、楽しく過ごしていきたいと思っています。

## ■出席報告

(出席・プログラム担当 小竹 誠)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
05月01日	休会				
05月15日	43 (免3) 40	32			80.00

☆出席免除

05月15日

住江正治 島村徹男 永野昭一



## ■スマイル

(親睦・スマイル担当 出先教明)



◎出先教明 10000円

明日から1ヶ月程、ひざの骨折療養のため入院します。Webでの例会参加となります。ダイエット目的です。



◎宮川義行 5000円

久しぶりに宮津君の子ども食堂に行ってきました。あいかわらず家族連れで盛り上がっていました。熊大や福祉大学の学生ボランティアたちが子供たちとゲームを楽しんだり、カレーやたこ焼きの配膳を手伝っていました。新しく立ち上げた子供大学くまもの学長に就任してますます忙しいそうです。彼のこれからの活躍に期待しています。誕生日プレゼントありがとうございました。



◎武末直大 5000円

妻の誕生日祝い頂きありがとうございました。スマイルします。



◎前田日出夫 5000円

先週の家内の誕生日いと結婚記念日ありがとうございました。



◎小畑成司 2000円

本日40周年記念事業の費用をお振り込みいただけるとの事、やっとはんが食べれますのでスマイルします。



「空手道を使った青少年との付き合い方」

現代社会においては子ども達と大人の距離が広がっていく傾向にあると思います。

学校教育においても子ども達への対応が昭和の時代とは大きく変わって来ています。

もちろん子どもの個性や権利を大事にしていく社会にしていく事は大事だと思いますが社会に出れば昭和生まれ平成生まれ関係なく人と付き合いに行く事になります。

伝統を守り礼節を重んじ競争していく事も必要である事を空手道を通じ学ぶ場所を作り地域スポーツでしか体験出来ない世界で礼節や競争を学び世界で活躍出来る人間構築を目標に日々指導しています。

今回は3つの内容でお話しさせていただきます。

一番目は空手道は相手と突きや蹴りを用いて戦います。今の社会では必要が無い事かもしれませんが殴られれば痛いしケガもします。

ゲームでは血が出ようが腫れようが痛みは感じません、ましてや死んでもリセットボタンを押せば生き返りますし呪文を唱えれば簡単に生き返ります。所が生身の人間はそうはいきません。

痛みを知る事で人間の限度を知る事になりますし命の尊さ世の中には強い人がいる事を知る事になります。骨を折れば数ヶ月かかるし簡単には治りません。

1人の人間にはその人を大事に想う親や子ども・妻・恋人・兄弟・姉妹・親戚・友人がいます。大事な人が死んだら悲しいケガをしたら心配する。それは当たり前の事です。

ゲームの世界でキャラクターを痛めつけ殺したら点数やお金が入って来て「やっつけた！」と言って喜んでいる子ども達はそんな事は考えていないと思います。

その「やっつけた」キャラクターはその日まで母親から生まれ純粋な子ども時代を過ごし色々な経験をして昨夜まで一緒に食事を共にした家族や友人がいたはずです。

仮想とは言えその人間を痛めつけ殺す事を喜ぶ事は成長過程の子どもにはよろしく無い事と思います。

ですので空手道を通し痛みを知り戦ってくれた相手に感謝をし礼に始まり礼に終わり相手を思いやる事、飯を食わせてくれ、空手道をさせてくれる親に感謝する事、熱心に指導してくれる先生に感謝する事、一緒に練習してくれる仲間を大事にする事を覚えさせています。

二番目は礼節です。

礼節とは「人間関係や社会生活の秩序を維持するために人が守るべき行動様式。特に敬意を表す作法」と事典に出ています。

現代の学校教育の人間関係では社会に出た時に大きな差があり社会生活で困る事があると思います。

指導者=経営者、先輩=上司である事から自ら道場に任意で入塾して習いに来ている以上は指導者の方針に従い先輩の指示に従う社会生活の秩序を子どもの頃から理解する様にさせています。地域スポーツの学校教育と大きく違う所はお互い任意で入塾、退塾出来る所だと思います。

お互いの方針や考え方が違えば辞めれるし辞めさせられます。

私の所では入塾時に誓約書を書かせ方針に従わない生徒・親は辞めてもらいます。

最近では親の態度が悪いので規定通り辞めてもらった事例もあります。

方針を理解出来ない生徒、親は他の自分達が納得する道場に行ってもらう事がお互いの為にもいい方向に進む道だと思います。

方針に従わない生徒や親は考え方の違いがある為に頑張っている他の選手家族に迷惑をかける事になります。

地域スポーツは義務教育ではありませんのでいつまでも面倒は見ません。

社会においても会社に自己権利の主張が激しく方針に従わない社員、親が出て来て会社にクレームを言って来る事例が後に絶えません。

自分達をいつ、どこでもお客さんと勘違いをしてお金を払っているからとか習い事とかと思う気持ちを捨てさせる様にしています。

選手が道場内で必ず守らないといけない事

- ・ 時間を守る
- ・ 挨拶を聞こえるように気持ちよくする
- ・ 人と話したら返事を大きな声でする
- ・ お願いします、ありがとうございますを必ず言う
- ・ ケガして自分が動けなくても練習は休まない
- ・ 年上と話す時は目線を相手より上にしない
- ・ 指導者の前は横切らない

一見、今の時代ではパワハラの様聞こえるかもしれませんが怒鳴りつけて指導する訳ではありません。何度も何度も根気強く説明して中学3年の卒塾までに完成させます。

将来自分が社会人になり売手になった時にお客様に対し挨拶をし、ハキハキ喋り、時間を守り、言った言われたことに責任を持つ事は決して邪魔にならないスキルになるはずです。

また私の道場での空手は進学を一番の目的にしていますので全国の強豪校に進学した時に環境に耐え練習に馴染める準備をしています。

中学時代の戦績で高校の進学が決まりますので生徒の将来に最も大事な時期をお預かりします。

「自分の成績より上の学校に空手を使い行く事、空手じゃ飯は食えないから進学の為、自分の人生が豊かになる為に空手を使え」これが私の生徒に対しての口癖です。

人には得意不得意があり、勉強が苦手でも空手を使い進学することができます。どのルートで高校に行っても卒業すれば一生学歴として使えますし大学進学や就職にも有利になります。

スポーツ選手のほとんどが競技で一生生活することはできません。

学生時代、日本一になっても社会生活ができず困窮してしまっただけは頑張った意味がありません。

これまで沢山のスポーツ選手が過去の栄光を捨てきれず困窮して行く姿を見てきました。私も高校進学時に勝手に道場の先生に特待を断られ空手だけの高校に行き社会に出た時に困った事を数多く経験しました。

高校の選択は生徒達の将来の生活に影響がある事を十分理解して人生が豊かになる進学を親と一緒にしっかり考え話し合い毎年行っています。

進学先で辞めたり休部したり生活態度が悪いと後輩がその高校に行けなくなる事を理解させ自分達だけの問題でない事の責任感を持たせます。

その為にも中学3年までに礼節や筋論、精神的体力、基礎体力、実績をつける事が大事となります。

三番目は競争生活です。

社会では表向きには競争社会が終わりを迎えている様になっている様ですが実際には全てにおいて競争は存在すると考えています。

生活を豊かにする為には仕事をしっかりしてお金を稼ぐ事、これは紛れもない競争です。

空手の試合において競争社会で生きる事は子ども達の向上心をやる最高の方法だと思います。

試合には枠がある為、出場する為には部内戦でライバルに勝つ事がスタートラインになります。塾内で同じ練習をしてもライバルに勝ち試合に出る事は出来ません。研究しトレーニングをして自主練をする事が大事な事だと小学生の時から感じ人より多くの努力をする事を余儀なくされます。

レギュラーになれば地区大会から県大会・地方大会・全国大会・日本代表選考会・世界大会と競争は続いていきます。

一つでも上を目指す事は努力をする事に繋がるし県代表になれば県の強化指導・全国で戦いナショナル選手になれば日本代表の強化指導が受けれます。

子ども達は能力を持っていても指導者の指導スキルが無ければ強くなりませんし実際に試合会場に行くと全国で戦えそうな能力があるのに指導者の知識不足で全く勝てない選手が後に絶えません。

これは子ども達では無く指導者の責任だと強く思います。指導者は常に新しい情報を勉強しルール改正を理解し指導方法を強豪校から学ばなければ子ども達の将来の芽を潰す事になります。毎日努力をしても勝てない練習をしているのは子ども達に失礼になると思います。

だからこそ多くの情報を生徒が自分でとりに行き努力をして上に上がらないとどんなに全国制覇を目指しても達成出来ません。

だからこそ各道場の方針を確認して自分に合う道場を見つけ方針が合う指導者に習わないといけないと思います。

競争を勝ち抜く努力をした事、自分で情報をとりに行く事は社会に出ても役に立つと考えています。

まずは意識する事で行動を変えて欲しいと常々思っています。

私の青少年奉仕は任意で来た子ども達に親や学校ではコンプライアンス的に言えない世界を体験させ社会に出た時に役に立てる人を作りたい。

また親以外で唯一本気で寄り添い、話し合い、喜び合い、心配してる人間が側にいる事で成長過程で親に言えない事を相談出来る人であり続け先輩と言う兄や姉、後輩と言う弟や妹がいる事で安心と責任を持ち孤独になれない場所を作ってあげたいと願っています。

## ■点鐘

編集 西田 智史

ロータリーボイス

<https://rotaryblogja.org/>

### 関心別トピック



使わないおむつと地域の課題がマッチング  
海賊に襲われた家族をロータリーのネットワークが援助

もっと見る



スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり  
ウクライナの人びとに義肢を

もっと見る



スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり  
Re-CONNECT : ロータリーファミリーホームカミングデイ

もっと見る



ロータリーのラーニングセンターを活用しよう  
理数系分野のジェンダーギャップ解消をめざす

もっと見る



2024 シンガポール国際大会に参加しましょう！  
ロータリアン国際スキー親睦活動グループで初の日本大会を開催

もっと見る



クラブと地区リソースネットワークの協力を通じた医療改革プロジェクト  
メンタルヘルスを優先することはなぜ大切なのか

もっと見る